

「看護の日」キャラクター

## 【重点3-1】看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関する事業

重点政策・重点事業などの必要性について「看護の日」キャラクター「かんごちゃん」からの質問に、分かりやすく回答します。



最近、「タスク・シフト/シェア」とよく聞けれど、  
どういうことなの?

タスク・シフト/シェアは、これまでである職種が担っていた業務を、他の職種にシフト(移管)することや、シェア(共同化)することです。この言葉は、厚生労働省「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会 報告書」(2017年)で使われ始め、「働き方改革」に向け、現在国を挙げて取り組んでいる大きな医療の変革の動きとなっています。時間外労働の上限を超えた場合の罰則は看護職にはすでに適用されていますが、医師は2024年4月から適用されます。そのため、医師が担っていた業務を他の職種にシフトしようという流れがあります。しかし、これまで医師が担っていた業務をただ単にシフトするだけでは、他の職種の負担が増えてしまいます。そのため、組織全体で業務を効率化し、どの職種がどの役割・業務を担うことが患者さんにとって最もよいかを多職種で考えることが重要です。

多職種が自身の専門性を軸にさらに役割を発揮できる体制を構築することは、安全で質の高い医療提供につながります。例えば、医師の指示を待つために、患者を待たせたり、看護師の時間外労働が発生する状況はないでしょうか。医師からあらかじめ指示を得ることで患者によ

りタイムリーに対応ができたり、必要でないものについても医師に指示を求めているかを組織の中で点検することで、患者を待たせることなく看護師が対応できることがあるかもしれません。看護師の皆さんにとって、タスク・シフト/シェアは、患者の最も身近にいる職種としてさらに看護の専門性を発揮し、患者に必要な医療を安全に、よりタイムリーに提供できるよう、体制整備を進める機会にしてください。

タスク・シフト/シェアについて、看護の専門性の発揮の機会ととらえて取り組むと、患者さんに必要な医療を安全かつよりタイムリーに提供できるようになるんだね



看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに取り組むにはどうしたらいいの??

まず、多職種が参画する場で組織全体の目指す姿や方針について合意形成することが必要です。大切なことは、「患者さんにとっての利益」を軸に目指す姿・方針を多職種が参加する幹部会議等で決定することです。個別の業務をどの職種が担うかを話し合っても、お互い業務量が多いため、なかなか議論が進みません。どのような体制で誰が担うことが安全であり、患者の利益となるかを、考えていくと良いでしょう。

本会は「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関するガイドライン及び活用ガイド」(以下、ガイドライン)を今年6月に公表し、どう取り組んだらいいのか基本的な考え方を示しています。看護の専門性の発揮に向けては、法令等で看護師が認められている業務範囲を正しく理解し、「看護師が専門性を発揮し、実施すべき業務は何か」を改めて整理したり、医師とのタスク・シフト/シェアにおいては包括的指示(※)を活用することで看護師の皆さんがその裁量(判断する範囲)を最大限生かせるよう、各施設で取り組んでいただくことを期待しています。一方で、看護師が判断する範囲が広がれば、看護師に求められる能力や責任も大きくなるため、必要な教育や業務実施体制を整備して医療の質と安全を担保することも重要です。ガイドラインでは、取り組みを進める上で知っておきたい看護師の業務範囲等についての解説、現場での運用の具体的な方法例も紹介しています。ぜひご活用ください。

※具体的指示(例:5月13日17時に○さんに(薬剤名)を5mg 静脈注射により投与)以外の全ての指示。詳細はガイドライン参照。

そっか。目の前の業務から考えるだけじゃなくて、組織の方針や他職種との合意など組織の体制を整えることで、看護師がもっと専門性を発揮でき、患者さんのニーズに応えられるということなんだね。ガイドラインで詳しく見てみよう!

◆ガイドラインは本会HPに掲載しています。

